

聖栄会だより

発行 東京聖栄大学同窓会 聖栄会
編集 東京聖栄大学 聖栄会本部事務局

〒124-8530
東京都葛飾区新小岩1-4-6
TEL 03-3692-0211(代)
<http://www.tsc-05.ac.jp/seieikai/>



東京聖栄大学 第11期生卒業式



東京聖栄大学 第11期生 卒業式が行われました

平成31年3月15日（金）に東京聖栄大学第11期生卒業式が、東京聖栄大学のわたなべ記念館において挙行されました。管理栄養学科86名、食品学科65名の151名が新たな門出を迎え、学位記が授与され、聖栄会へ入会されました。卒業式は、学位記授与に始まり、4年間の学業成績が最も優秀な者に与えられる学長賞1名、優秀賞8名が表彰されました。その他に、全国栄養士養成施設協会会長賞、日本



フードスペシャリスト協会会長賞、食品科学教育協議会会長賞の表彰も行われました。

式終了後には、各学科に分かれて担任の先生方や学科長より卒業に際し、社会での活躍を祈念して卒業生へメッセージが送られました。本会からは、卒業記念品を卒業生全員に贈呈いたしました。

聖栄会 会長ご挨拶



聖栄会会長

高橋 興亜

聖栄会の皆様にはご健勝のこととお喜び申し上げます。

昨年は18歳人口の激減による入学生の減少により、多くの大学で定員割れを起こしていることが大きく新聞に掲載されていました。これから何年か続くと言われており危機感を覚えている大学もあるようです。このように大学を取り巻く環境が厳しい中で、「聖栄会」として今成すべきことは、母校が入学定員を満たし、健全な運営が図られるように側面から援助することだと思います。同窓会活動のマンネリ化や積極性を欠く部分も否めない中で、学内から会則の見直しについて提案がありました。役員会において改正（案）の検討をしているところです。

今年の新しい活動として、分野別に別れての勉強会を開催し会員の資質向上とその情報を共有し、大学と連携しながら学生募集、就職へと繋げたいと思っております。また、在学生のために、食・栄養の専門家としての社会人教育や職業指導について、経験豊富な卒業生の講演なども計画したいと考えております。

新元号に変わる今年は、聖栄会も変化元年にしたいと意を強くしておりますので、皆様のお力添えをお願いいたします。

最後に母校の益々の発展と、会員の皆様のご活躍を心よりお祈りいたします。

聖栄会 名誉会長ご挨拶



名誉会長

田所 忠弘

同窓生の皆様へ

大学に対する聖栄会皆様の日頃よりのご協力、ご支援のほどに心より感謝申し上げます。第11期生の卒業式も無事終了し、4月1日からは、学部長に荒木裕子教授を、また、管理栄養学科長には宮内眞弓教授、食品学科長には北村義明教授をそれぞれ新たにお迎えし、第15回目の入学式を迎えます。昨年度卒業生達のアンケート調査からも満足した学生生活と高い就職率や管理栄養士国家資格取得など大学として引き続き、うれしい上位ランク評価を頂いております。ところで、卒業生皆様の活躍振りは大学の定評に大きな影響力を持っています。さらには、大学在校生の満足度にも多大な影響をもたらすことも事実です。聖栄会の皆様には、ぜひ卒業時の学科にこだわらず東京聖栄大学の卒業生として一丸となって両学科卒業生同士の交流を一層図っていただければ誠に幸いです。社会では、学科の枠を超えた交流の拡大は、人脈づくりにも必要不可欠、自らの仕事内容の充実と質の向上、発展にも大いに役立ちます。本学は、教職協働で学生一人ひとりの資質を大いに伸ばせる機会を積極的に構築できるよう努力しております。7年に一度の大学機関別認証評価も問題なく無事終了致しました。大学としてさらなる飛躍に向け、「食」の質を高めることは無論ですが、同時に両学科卒業生同士の交流を益々深めて頂けると東京聖栄大学が益々社会に定着し、在校生の順調な就職にも反映されます。どうぞ聖栄会の活動的發展を皆様方の力で盛り上げて頂ければ誠に幸いです。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

聖栄会 名誉顧問ご挨拶



名誉顧問

福澤 美喜男

卒業生の皆さんへ

平成30年度東京聖栄大学第11期生の卒業式が3月15日に挙行され、151名の卒業生が新会員として聖栄会に入会しました。会員の累積総数は1万7,211名となり現在も各地で活躍しておりますが、新たな聖栄会支部が誕生したというニュースがないのが残念です。唯一支部組織として活躍する千葉県茂原地区聖栄会支部（代表中田とみ子氏・短大11期）は近藤みち子氏（専門1期）が千葉県立栄養専門学校と同窓会の活動を見て、地域の卒業生（栄養士）が仕事の悩みを相談できる「場」が必要と考え、旧茂原地区栄養士会を立ち上げたと聞いております。なお、他の地区でも支部を創る話がありますので、一日も早く産声を聞きたいと思っております。

平成17年に開学した東京聖栄大学も14年目になり、卒業生の教職員も次第に多くなってきました。教員は新健康栄養学部長に就任した、荒木裕子教授を筆頭に准教授、講師、助教が6名。また、事務職員7名、実験実習助手8名が本学の教育をサポートしています。本学出身の教職員が他の教職員と同様に更に活躍することを願っています。

今年も11月には『聖栄葛飾祭』があります。久しぶりに来校して友達と旧交を温める機会にするのも一興です。皆様のご来場をお待ちしています。

聖栄会トピックス

平成30年度 聖栄会総会が 東京聖栄大学内で開催されました

平成30年度聖栄会総会が6月3日（日）、東京聖栄大学において開催されました。

高橋会長（専門7期）が議長に、松崎氏（短大5期）が副議長に選出され、議事に入りました。

高橋会長（専門7期）より次のような挨拶がありました。「最初に皆様におめでたいご報告がございます。本年度、松本信二前学長に「瑞宝中綬章」が授与されました。聖栄会からもお祝いとして花束と記念品を贈呈する予定であります。法人としてのこの数年間を振り返ってみると、福澤美喜男理事長の叙勲受賞、大学10周年、法人設立70周年、とおめでたいことが続いております。18歳人口の減少が社会問題となっている非常に厳しい社会情勢の中で、本学は定員を満ち、健全経営をすることができています。大学のさらなる発展のため、聖栄会も精一杯支援していき

たいと考えております。」

引き続き報告、議事と進行されました。

飯田氏（短大37期）から平成29年度事業報告、海老澤氏（大3期）から平成29年度会計報告があり、会員の拍手を以て承認されました。続いて平成30年度事業計画案と予算案が提出され、それぞれ承認されました。

総会は終了後、引き続き懇親会が行われました。



聖栄会会長挨拶

平成30年度 聖栄会懇親会が 東京聖栄大学附属調理師専門学校で開催されました

平成30年6月3日（日）、平成30年度聖栄会総会に引き続き、懇親会が附属調理師専門学校にて開催されました。福澤美喜男理事長（本会名誉顧問）、田所忠弘学長（本会名誉会長）をはじめ、多数の恩師の先生方にもご出席いただきました。会員では初めて参加された方や久しぶりに参加された方など様々で、40余名の参加者がありました。各テーブルでは在学中の思い出話などに花を咲かせ、附属調理師専門学校の教員・生徒による料理に舌鼓を打ちながら、和やかに懇談が行われました。また、多数の景品が用意されたビンゴ大会も催され、成功裏に閉会となりました。



名誉会長挨拶



全体集合写真

2019年度 定期総会開催のご案内

2019年度の定期総会ならびに懇親会を下記の通り開催いたします。

記

- ◎日 時 6月2日（日）
定期総会 11時から
懇親会 12時30分から
- ◎会 場 総 会 東京聖栄大学1号館4階講堂
懇親会 2号館（附属調理師専門学校）
地階多目的ホール

◎懇親会費 1,000円

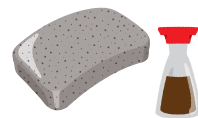
懇親会は附属調理師専門学校地階 多目的ホールで開催いたします。

皆様お誘いあわせの上、お気軽にご参加ください。
※同封のハガキで5月20日までにお申し込みください。
※なお、欠席される場合でも委任状をご投函願います。

聖栄会トピックス



第30回 食文化研究会開催される



平成30年9月30日（日）に第30回食文化研究会を開催いたしました。30回目の記念となる今回の食文化研究会は、「こんにやくパーク」（群馬県）でこんにやく工場の見学、「ヤマキ醸造ものづくり体験教室」（埼玉県）で醤油の手搾り体験を行う、バスツアーを企画しました。「こんにやくパーク」では工場見学のほかに、色々なこんにやく料理の

試食を楽しみ、昼食には「紫水庵」でおいしい豆腐会席料理を堪能しました。また醤油手搾り体験は、3、4人の班に分かれて作業し、できた醤油は瓶詰め後、搾ったもろみと一緒に土産としていただきました。同窓生との交流を深め、色々な思い出と名産品をお土産に帰路に就くそのような楽しい会となりました。



紫水庵会食の様子



料理の様子



醤油体験集合写真



醤油体験の様子

参加者募集！

第31回 食文化研究会開催します！

今年度の食文化研究会は銀座にありますフレンチレストラン「巴里 夕顔」にて開催いたします。

食文化研究会では、今までにフランス料理を2回行っておりますが、今回開催する「巴里 夕顔」は料理の味はもちろん、フランス料理の盛り付けの美しさを楽しむだけではなく、店内の雰囲気が素晴らしいお店です。お店のオーナーの趣味が骨董品や美術品集めであることから、集められた品々が店内に飾られており、まるで美術館の中で食事をしている様です。素晴らしい店内でフランス料理をいただきながら、優雅な時間を過ごしませんか。是非、同級生との集まりや、同窓生との交流のきっかけとしてご参加ください。



記

- ◎日 時 2019年10月6日（日）
- ◎時 間 11時から
- ◎場 所 巴里 夕顔（ぱり ゆうがお）
JR「新橋駅」銀座口徒歩5分
- ◎参 加 費 6000円
- ◎募集定員 36名（予定）



管理栄養士国家試験に

チャレンジしている皆様へ

卒業生の国家試験対策を実施しております

毎年、管理栄養士を目指す卒業生の方にも広く参加できるように管理栄養士国家試験対策を提供いたしております。具体的には本学独自の学内模試2回に加えて、業者試験10回に参加できるようになっております。この試験に参加することにより、実力アップをはかり、管理栄養士国家試験合格に結びつけられるものと信じております。管理栄養士国家試験に合格するために模擬試験を受験したい卒業生はぜひお問合せください。

TEL:03-3692-0211（東京聖栄大学 国試対策室）

<https://www.tsc-05.ac.jp/>

大学ホームページのこの
バナーより入れます（PC用）→



※参加希望の方は聖栄会事務局宛にお申し込みください。
電話番号 03-3692-0211
お申込みいただいた方には、後日案内を差し上げます。
また、アレルギーがある方は申込時にお知らせください。

同窓生通信

聖徳栄養短期大学 31期卒業生



青津 有希

先日数年ぶりに学校を訪れ、生き生きとしている学生の皆さんの顔を拝見し、懐かしさと共に、希望に満ちていた頃の気持ちを思い出し、身の引き締まる思いがしました。

短大を卒業してからは、食品会社で品質管理・商品開発を担当、その後給食委託会社で実業団陸上部の寮や病院、直営の高齢者施設でそれぞれ調理・栄養業務を行い、現在は給食委託会社の本部スタッフとして勤務しています。入社してからは約20店舗の店舗管理を行い、今年度からは献立作成、食材の仕入れ管理、栄養士研修の主催、新入社員の採用を担当しています。先日学校を訪れたのも採用活動の為でした。これまで栄養士・調理業務だけでなくお客様、現場で働くスタッフとのコミュニケーションの大切さも学びました。現在は栄養士の育成に力を入れており通常の講義の他、調理実習や工場見学も行っています。私自身様々な経験をさせていただきましたが、まだまだ得る事も多く勉強不足を実感しており、微力ながら若い栄養士の勉強の場がもてるように模索し、共に成長していきたいと職務に励んでいます。学校で学んだ事は必ず役に立ちます。どうぞ有意義な学生生活を送って下さい。

最後になりましたが、東京聖栄大学の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

東京聖栄大学 3期卒業生



大森 拓哉

「栄養剤の種類や量を決めたいのだが、この患者にはどのぐらいがいいかな？」と医師から相談を受けるようになるとは、1年生オリエンテーションを怠慢な態度で受けていた12年前の私からは想像もしない事でした。

現在、私は急性期病院で管理栄養士として働いています。臨床の現場において管理栄養士のニーズと活躍の場は確実に広まっており、それは急性期だけを切り取って見ても一目瞭然です。最近の診療報酬改定では、栄養指導料の増額や対象疾患が拡大され、管理栄養士が入退院支援部門で栄養状態を評価することや緩和ケアチームへ参加することが推奨されてます。

また、疾病の治療に影響する因子として高齢者には栄養が非常に重要で、サルコペニアが2016年に国際疾病分類に登録されてからは、栄養管理を無視しては治療が難渋するといった学会発表や研究が多く見られるようになりました。

これらのことから当院でも、栄養指導件数は年々増加し、入退院支援部門との連携を開始、NST活動の専門性を強化させ、病棟担当制をとるなど、幅広い活動の場が求められてます。患者さんや他職種から必要とされる仕事であることの矜持を持ちながら、管理栄養士の評価が社会的にさらに高まるよう日々精進したいと思います。最後になりましたが、母校と聖栄会の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

東京聖栄大学 キャンパス通信

宿泊研修

管理栄養学科

BumB東京スポーツ文化館

新入生(第14期生)は4月に新木場「BumB東京スポーツ文化館」にて、1泊2日の新入生宿泊研修を実施致しました。

管理栄養学科では1年入学時に「管理栄養士の基礎演習」という授業の一環として宿泊研修を行います。「仲間作り」と「動機付け」を主とした内容とし、同級生や先生との交流を楽しみました。管理栄養士という職業について理解を深めるための講座の実施や、上級生からの学生生活体験談のプレゼンテーション(写真)なども行い、これからスタートする大学生活を精一杯過ごすための動機付けも行うことができました。夕食後には上級生が企画した懇親会、また翌日にはサブアリーナを使用してのレクリエーションを行い、4年間一緒に過ごす仲間たちとの絆を深める充実した研修となったと思います。



食品学科

(1年生:新入生宿泊研修、市場見学)(2年生:フィールド研修)

1年生は、入学式後1泊2日の新入生宿泊研修を栃木県日光市で行いました。研修では、食品学科の教育課程、食品学科の学びについて、学科長より講義を受けました。夜には、学生と教員でグループとなりオリエンテーションを行いました。翌日は、全員で校歌斉唱を行い、その後の見学ではおき製造工場、豆腐作り体験などを行いました。また2月には、1泊2日の市場見学を行いました。しょうゆやはっ酵乳の製造工場、ならびにリサイクルトレー工場見学を行い、食品の製造や容器について学びました。翌早朝には、東京卸売市場大田市場にて青果物の、今年移転したばかりの豊洲市場では水産物の見学をし、食品流通について学びました。



2年生は、夏休みに2泊3日のフィールド研修を長野県伊那市で行ないました。そば打ち体験や馬肉加工工場、アイスクリーム工場を見学し、製造法と特産品について、養命酒工場では、歴史から生産流通まで深く学びました。宿泊先である高遠さくらホテルには、大学の研修農場があり、そこで野菜収穫体験を行いました。夜には、各教員より研究室紹介、卒業研究ならびに卒業制作についての講義、レクリエーションを行いました。

研修では、普段の大学生活では経験できない時間が過ごせ、有意義な研修であったと言えるでしょう。

海外研修

管理栄養学科

平成31年2月12日から2月17日まで6日間、ドイツ(ミュンヘン、フロイデンシュタット、ハイデルベルグ)にて管理栄養学科の海外研修が実施され、10名の学生が参加しました。ミュンヘンでは現地の給食施設や大学、野



外市場を見学し、ドイツ人の学習環境や食生活を体験しました。また、フロイデンシュタットでは生活習慣病対策の最先端である現地病院の取り組みを見学し、ドイツ栄養医学の指針に基づく教育クリニックとサービスを学ぶことができました。本年度の研修も学生にとってとても有意義なものとなりました。

食品学科

平成30年度の食品学科海外研修は、イタリアにて食文化研修を2月11日から2月18日までの8日間行いました。22名の学生が参加しました。研修はポロニーヤ、パルマ、アルティミーノ、フィレンツェ、ローマおよびバチカン市国にて行



いました。研修では、食の現地視察として、パルメザンチーズ工場、ワイン蔵、中央市場などを見学しました。また、アルティミーノやローマでは、トスカナ料理、ピザの講習を受けました。慣れない風習や言語に戸惑いながらも、楽しく取り組み、大学では学べない現地の雰囲気や本場を体験できた内容の濃い8日間となったのは言うまでもありません。



体育祭

平成30年5月26日(土)、東京聖栄大学の船橋グラウンドにおいて体育祭が開催され、聖栄会は協賛参加いたしました。大学として開学されてから初の土曜日開催となりました。

当日は晴天に恵まれ、100m走や綱引き、クラス対抗リレーなどの競技が多数実施され、白熱した戦いが繰り広げられました。聖栄会では総合優勝したクラスに対し、荒木副会長より、会長賞を授与いたしました。



聖栄 葛飾祭



平成30年11月3日(土)・4日(日)に『聖栄葛飾祭』が開催されました。今回のテーマは『食彩～食で広がる無限の輪』と題して、食は私たちの生活を豊かにする無限の可能性があり、食の素晴らしさを多くの人に伝えたいという思いを込めたテーマに設定をいたしました。聖栄会では、卒業生同士が交流できるブースを設け、多くの卒業生が交流を深めておりました。また学友会主催のチャリティー企画「もちつき」に継続的に協賛参加いたしました。



2019年度

** 聖栄葛飾祭のご案内 **

聖栄会では、今年度も1号館2階を会場として卒業生の交流場所を設ける予定です。会員の皆様にはもちろんのこと、会員以外の方にもご来場いただきぜひ聖栄会の活動をご覧ください。

日時 2019年11月9日(土)・10日(日)
各日10時から16時まで

東京聖栄大学 キャンパス通信

平成30年度 卒業研究発表会の開催

2月2日に平成30年度卒業研究発表会が開催されました。口頭発表26演題、ポスター発表13演題の計39演題の発表に加え、調理技術研修生による成果報告が行われました。各学生、これまでの研究成果について報告し、活発な質疑応答がされました。

発表演題の紹介 (一部抜粋)

▶食品学第一研究室 (筒井教授)

・トマトの機能性

▶食品学第二研究室 (荒木教授)

・ニョニヤ菓子の研究
～色彩を中心に～

▶食品開発研究室 (塩谷教授)

・地鶏肉のテクスチャーとおいしさについて

▶食品衛生学研究室 (伏脇教授)

・野菜中のがん抑制作用

▶応用微生物学研究室 (北村教授)

・天然酵母サワーパン種へのケフィアスター添加の影響

▶食品生化学研究室 (福田教授)

・柑橘果皮由来フラボノイドによる骨代謝への影響

▶食品加工学研究室 (片山准教授)

・生落花生味噌の抗酸化活性および抗がん作用

▶食品流通学研究室 (藤島客員教授)

・日本における液体ミルクの普及課題

▶調理学研究室 (吉田准教授)

・福島県塙町復興支援と商品開発



ポスター研究発表



口頭発表

東京聖栄大学 就職状況について

平成31年3月卒業生の就職率(就職希望者比)は、学部合計で100%となりました。

卒業生の多くは学業に関連した職種に就職しており、卒業生が就職先で大いに活躍することを期待しています。

<参考> 就職内定率状況

	内定者数	就職希望者数	就職内定率
管理栄養学科	83名	83名	100%
食品学科	65名	65名	100%
学部合計	148名	148名	100%

第33回管理栄養士国家試験 合格発表について

平成31年3月3日(日)に第33回管理栄養士国家試験が実施されました。昨年度より合格発表が3月下旬へと変更となり、卒業生は社会人になる前には結果がわかるようになりました。

東京聖栄大学からは、受験者数78名中、73名が合格し、管理栄養士養成施設(新卒)の平均合格率95.5%に近い、高い合格率となりました。引き続き、聖栄会としても在学生に対する支援をできる限り行いますので、会員の皆様のご協力も宜しくお願いいたします。

<参考> 学校区分別合格者状況

	受験者数	合格者数	合格率
東京聖栄大学	78名	73名	93.6%
管理栄養士養成課程(新卒)	9574名	9140名	95.5%
管理栄養士養成課程(既卒)	1508名	271名	18.0%

東京聖栄大学 キャンパス通信

卒業生の皆様より東京聖栄大学の在學生に向けた求人を募集しております

東京聖栄大学の卒業生、前身である専門学校、短期大学の卒業生を含めると約1万人以上の卒業生がおり、多数の方が社会で活躍されております。

会員の皆様の後輩達への求人情報がございましたら右記までご連絡下さい。

また、インターンシップに関する情報につきましても併せてご連絡をお待ちしております。

求人に関するお問い合わせ

学生支援・就職支援課

TEL : 03-3692-0211 (代)

FAX : 03-3692-0248 (直通)

専用お申込みフォームはこちら→

https://www.tsc-05.ac.jp/job_form/食品学科
調理技術研修制度について

食品学科のフードビジネスコースには、附属調理師専門学校と連携して「調理師の資格」が取得できる「調理技術研修制度」があります。この制度は食品学科フードビジネスコースに在籍する学生が対象で、2年次終了までに取得単位数が80単位以上であること等が求められております。なお、この制度を利用する場合は1年間の研修費が別途必要になります。

この制度の利用を特にお奨めしたいのは、自営の飲食店経営者の子弟で、将来飲食店の後継者にしたいとお考えの方々には最適であると思います。将来、ご自分の子弟を大学に進学させたいとお考えの会員の方もおられると思いますので、この制度を利用した進学をお奨めいたします。



入学金減免制度について

平成30年度入試「卒業生子女等推薦入試」(同窓会推薦入試)を実施し、2名の学生が東京聖栄大学に入学いたしました。

平成31年度(2019年度)入試にも実施を予定しており、同窓会員の子弟(卒業生・在学者の子または兄弟・姉妹)が出願可能で、入学される場合は入学金が減免される制度です。詳細に関しては東京聖栄大学(03-3692-0211)までご連絡ください。



支 部 通 信

聖栄会・千葉支部 短大36期 2000年3月卒 鳥海 友美(旧姓 増田)

私が聖徳栄養短期大学を卒業して、19年が経ちました。卒業後は委託の給食会社に入社し、配属先の先生方が短大の卒業生だったことがきっかけでお声をかけていただき、聖栄会(千葉県支部)を知り、参加させていただくこととなりました。初めて参加をしたときは、こんなにもたくさんの方が卒業をし、ご活躍されているのだと思ったことを覚えています。

年に一度の同窓会では、一期生の方から卒業して間もない栄養士の方、病院、福祉施設、学校、保育園、行政と様々な職場で勤務する栄養士が集まり、近況報告や情報交換、悩んでいることなど先輩方からアドバイスをいただいたりと親睦を深め、とても和やかな雰囲気の時を過ごすことができました。

昨年は平成10年に千葉県長生地区管内で発足した聖栄会(千葉県支部)も20周年を迎え、福澤美喜男理事長を初め、先生方をお招きし、一つの節目となる会を行なうことができました。これからも聖栄会の皆様との繋がりを大切にしていきたいと思います。

最後になりましたが、東京聖栄大学の益々のご発展をお祈り申し上げます。

住所・氏名変更に関するお知らせについて

聖栄会は、卒業生の皆様のデータを管理し、その最新データを基に、聖栄会として大学から情報を発信するなど、卒業生と大学とのつながり絆を強化するための事業を推進しています。

住所等変更のご連絡

聖栄会の広報誌などをご登録いただいている住所にお届けしておりますので、住所や氏名などを変更した場合は、下記の変更通知返信フォームにて聖栄会本部事務局にお知らせください。

<変更通知送信フォーム>

<https://www.tsc-05.ac.jp/seieikai/form/form.html>

お問合せ先

TEL : 03-3692-0211 (聖栄会本部事務局)

